

平成 24 年度岩手県地域福祉推進フォーラム開催要領

1 目的

高齢化の進展や経済の低迷等に伴い、一人暮らしの高齢者や低所得者層の増加など、新たな生活課題が増加しており、東日本大震災の被災地では、従来のコミュニティの崩壊により、買物の不便さや孤独を抱える高齢者の増加など、生活課題への対応が困難な状況となっており、これらへの取組みは喫緊の課題となっています。

本フォーラムは、県の「地域福祉支援計画」に基づき、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる福祉コミュニティづくりを目指し、相談から支援まで、住民が身近なところで福祉サービスを利用できる仕組みづくりや、行政と住民の協働による福祉コミュニティ形成の取組みなどの実践事例を通して、地域の社会資源や福祉ネットワークなどの「地域の福祉力」を生かした地域福祉の推進に資することを目的に開催します。

2 主催

岩手県 岩手県社会福祉協議会

3 共催

岩手県立大学社会福祉学部

4 日時

平成 24 年 11 月 16 日（金） 13 時～17 時

5 会場

ホテルニューカリーナ 2 階「マーブル」

（〒020-0024 岩手県盛岡市菜園二丁目 3-7 TEL：019-625-2222）

6 参加対象者

定員：150 名

- (1) 福祉行政関係職員
- (2) 市町村社会福祉協議会役職員
- (3) 地域福祉に関わる機関・団体等
(民生委員・児童委員、地域包括支援センター、社会福祉法人、介護保険・障がい福祉サービス事業所、特定非営利活動法人、福祉ボランティア団体等)
- (4) その他、地域福祉に関心のある方

7 日程

別紙のとおり

8 参加申込

参加申込は別紙参加申込書により、10 月 19 日（金）までに FAX、電子メールで、岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部コミュニティ振興グループ宛てにお申し込み下さい。

<申込先>

岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部コミュニティ振興グループ 担当：松坂、工藤

〒020-0831 盛岡市三本柳 8 地割 1 番 3 ふれあいランド岩手内

TEL:019(637)4483 / FAX:019(637)7592 / E-mail h-matuzaka@iwate-shakyo.or.jp

9 取得した個人情報の取り扱い

申込書をもって取得した個人情報は、岩手県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシーに基づき本フォーラムに関する業務以外の目的には使用しません。

10 日程

時 間	内 容
12:30~13:00	受付
13:00~13:10	開会 挨拶：岩手県保健福祉部長
13:10~14:40	<p>【基調講演】 「まちづくりは人づくり～住民による住民のための地域組織化を考える～」(仮題) 講師 関西学院大学人間福祉学部 教授 牧里 每治氏</p> <p><内容> 大阪府で展開されている住民による住民のための住民組織として、校区福祉委員会の活動が推進され、社会福祉協議会が支えています。 住民による住民のための地域組織化を具現化するために校区福祉委員会が設置運営された経緯と現在の活動について、ご講演をいただく予定です。</p>
14:40~14:55	休憩
14:55~16:55	<p>【シンポジウム】 「地域の福祉力を考える ～住民自ら取り組む地域の福祉課題の解決手法を探る～」(仮題) <内容> 過疎、高齢化が進む県内で、小地域福祉活動を展開するための課題と対応策について、現在、県内各地で取り組まれているそれぞれの立場で取り組まれている事例から課題と対応策を探ります。</p> <p>○シンポジスト</p> <p>特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター 事務局長 若菜 千穂氏 三陸町崎浜地区の住民主体で開催する復興会議の運営を支援した事例を基に中間支援団体のあるべき姿を発表いただく予定です</p> <p>特定非営利活動法人「くちない」 事務局長 菅野 甚一氏 過疎地の交通確保のための自家用車有償運送と集落商店を開店する等、法人格を取得し住民同士で支え合う現状を発表いただく予定です。</p> <p>社会福祉法人西和賀町社会福祉協議会 事務局長 高橋 純一氏 高齢者の生活のしづらさを解消するために、住民や企業と新たに協働した買い物支援の仕組みを構築した経緯を発表いただく予定です。</p> <p>○進行・助言者 関西学院大学人間福祉学部 教授 牧里 每治氏</p>
16:55~17:00	閉会

